

---

---

その他

---

---

## 内海弘蔵編著作リスト

岡田 美也子・孔 寧

### 1. はじめに

内海弘蔵（1872～1935）は、神奈川県出身の国文学者、国語教育者である。帝国大学文学部国文学科を卒業後、早稲田大学を経て、明治大学の講師、のちに教授となった。国学院大学、専修大学、第一外国語学校講師などでも教壇に立っている。若き頃、落合直文に入門、浅香社の創立同人であったことがよく知られている。また、月杖（げつじょう）の号で多く作品を残し、活躍していた。その仕事は幅広く多岐に亘るため、なかなか全貌は見え、各分野においてその功績が知られているものの、内海弘蔵個人に焦点を当てた研究や評価はなされてこなかったといってよい。これまでの研究でその名前が断片的に取り上げられるものは大別して次の点である。

- ①明治大正期の文壇史において、その一員として
- ②『徒然草』の注釈史・受容史研究において、一大趣味論提出者として
- ③国語教育史研究において、教科書、読本などの編纂者として
- ④事典の類いにおいて、六大学野球の創始者として

唯一、内海を研究対象としたものとして、甲斐・宮坂（1974）がある。ここでは、次のような項目を立てて、その生涯と業績を概観している。

- 一、生涯 イ、青少年時代 ロ、国文学界進出 ハ、大学教授時代と晩年
- 二、著作年表
- 三、業績 イ、『徒然草』の研究 ロ、『平家物語』の研究 ハ、美文
- 四、資料年表
- 五、遺族、遺跡 イ、遺族 ロ、遺跡

創作者として著名とはいえない内海を取りあげて、その全体像をまとめたこと自体に意義があり、加えて、雑誌記事をも丹念に拾い上げて内海の著作をリスト化していることは大いに評価されるべきである。ただ、文学者としての像に焦点を当てているためか、教科書や読本の編纂については数点しか収録されていない。

しかし、内海の仕事は、冒頭で述べたように多岐に亘る。創作者、文壇の裏方、翻訳者、古典文学の注釈・解説といった文学者としての活動が、文学教育、文法教育、作文教育、教科書編纂、受験指南といった国語教育の活動と連動している。内海の場合、これらの境界があまりに低く、文学・国語教育いずれにもまとまった業績を残さなかったことが、人物として着目されにくい原因となっているが、そのありよう自体は、彼の師でもある落合直文や上田敏など明治期の文化人の姿でもある。ゆえに、分野を分けず、業績全体を見わたすことにも意味があるう。

幸い、近年さまざまな研究機関や図書館に所蔵されている図書や一般に出回っている図書が電子データベースにより検索できるようになった。それによって新しく発見できた資料もある。近代文学叢書の調査研究から50年弱が経っていることもあるため、改めて著作年表を整理することとした。

すべての現物に当たることは出来ず、書誌が曖昧な状態となってしまった箇所もある。また、当然、散逸した資料、研究機関などに収蔵されていない資料、公開電子データベースに未収録の資料もある。甚だ不完全なものではあるが、今後の整備の土台となれば幸いである。

## 2. 調査対象

調査に用いたのは、以下のデータベースである。

- ・国立国会図書館 図書・雑誌所蔵目録 (OPAC)  
国立国会図書館サーチ
- ・国文学研究資料館 図書・雑誌所蔵目録 (OPAC)  
国文学論文目録データベース  
近代書誌・近代画像データベース
- ・国立教科書研究所教育図書館近代教科書デジタルアーカイブ
- ・広島大学図書館 教科書コレクション画像データベース
- ・東書文庫 蔵書検索
- ・CiNii Articles  
Books
- ・日本の古本屋

その他、書誌などの確認、補充のために Google 検索を適宜用いた。

作業は、以下のように分担した。

- ・ 孔寧 国会図書館データベース調査、甲斐・宮坂（1974）との照合、リスト整備
- ・ 岡田美也子 国会図書館以外のデータベース調査、本文執筆

### 3. 凡例など

- ・ 編著作という観点から、リストは内海の存命期間に公刊されたものをまとめた。ただし、1936年新刊の「現代の書簡文」のみ加えてある。
- ・ 重版の場合、刊行年がデータベースに登録されるため、特に注釈書は刊行年が異なる同一書名のものが多く存する。よって、同一書名の場合、版数や改訂等の注記がある場合のみ採用した。
- ・ 旧字はすべて原則、新字に統一した。データベースによっては旧字で登録されているものもあるので、注意されたい。
- ・ 刊行年月日、雑誌嵌合、掲載頁は調査点で判明している範囲で記入した。
- ・ 甲斐・宮坂（1974）は、『叢書』と表記した。今回、同書以外に確認が取れなかったものに「◎」を付した。
- ・ 備考欄には、書誌間の照合によって生じた疑義や要確認事項を記した。

表1 編著リスト

【叢書】	西暦	和暦	出版月日	内海編著作名	内海執筆記事/頁
◎	1895	明治28	1. 10		従軍曲 /61 登嶽 /61
◎	1895	明治28	5. 10		春恨 /50
	1899	明治32	2. 26		保元物語に於ける鎮西八耶為朝
	1899	明治32	3. 25		国語教育を論じて教育家諸君に告ぐ / 3～6
	1899	明治32	5. 25		時事偶感 / 1～3
	1899	明治32	4. 20		記夢寄故山友人 /49
	1899	明治32	6. 25		チャンブレン氏の「文字のしるべ」を読んで所感を述ぶ / 1～4
	1899	明治32	8. 25		国民の趣味養成策 国文の教授法改良 / 1～4 徒然草評釈 / 1～4
	1899	明治32	8.	英文典 (涅氏)	
	1899	明治32	9. 25		徒然草評釈 / 5～8
	1899	明治32	11. 25		徒然草評釈 / 9～12
	1899	明治32	12. 25		徒然草評釈 /
	1900	明治33	1. 1		帝国教育会の新国字調査に就て卑見を述ぶ / 1～5 徒然草評釈 /13～16
	1900	明治33	2. 10		徒然草評釈 /17～20
	1900	明治33	3. 2	中等教科 日本文学史	
	1900	明治33	3. 10		言文一致体の文章に就きて / 1～4
	1900	明治33	3.	国文読本 巻の1～10	
	1900	明治33	4. 1		独詩評釈 (一) ゲーターの傑作『ウエルテールの悲歎』 / 7
	1900	明治33	4. 10		徒然草評釈 /21～24
	1900	明治33	4.	国文評釈	
	1900	明治33	5. 1		独詩評釈 (二) / 6
	1900	明治33	6. 1		独詩評釈 (三) / 2
	1900	明治33	6. 10		徒然草評釈 /25～32
	1900	明治33	7. 1		アウエルステットの騎士 / 4
	1900	明治33	7. 10		時事偶感 / 1～3
	1900	明治33	7		向島の夏 /163～171
	1900	明治33	8. 1		アウエルステットの騎士 (つゞき) / 4
	1900	明治33	9. 10		保元物語の一節 / 5～12
	1900	明治33	9. 12		独詩評釈 (四) /30
	1900	明治33	10. 12		独詩評釈 (五)「涙中の楽」ゲーター /31～34
	1900	明治33	11. 10		国内留学生を設くるの私議 (特に我が国文学の為に) / 1～4
	1900	明治33	11. 27		独詩評釈 (恋せし人の側に ゲーター) /48～50
	1900	明治33	11.		大雄山紀行

内海弘蔵編著作リスト

編著者名執筆者名表記	収録図書・雑誌	出版者	備考
内海月杖	帝国文学 (1)	帝国文学会	
内海月杖	帝国文学	帝国文学会	
内海弘蔵	史学界 1 (1)	富山房雑誌部	
内海弘蔵	国文学 (3)	国文学雑誌社	
内海弘蔵	国文学 (5)	国文学雑誌社	国文研DBに4月。5月25号は現物確認
内海月杖	新声 臨時増刊号「春風 秋声」	新声社	同年9月20日単行本として再版
内海弘蔵	国文学 (6)	国文学雑誌社	国文研雑誌DBに「文字の去るべ」(誤記)
内海弘蔵	国文学 (8)	国文学雑誌社	
ネスフィールド 著, 内 海弘蔵 訳		成美堂	『邦文涅氏英文典』とも
内海弘蔵	国文学 (9)	国文学雑誌社	
内海弘蔵	国文学 (11)	国文学雑誌社	
内海弘蔵	国文学	国文学雑誌社	12号に掲載されていないので、『叢書』 の誤りと推測される
内海弘蔵	国文学 (13)	国文学雑誌社	
内海弘蔵	国文学 (14)	国文学雑誌社	
内海弘蔵 著		明治書院	表紙は「中等教科 日本文学史」、巻 末p206に「中等教育 日本文学史」
内海弘蔵	国文学 (15)	国文学雑誌社	
新保寅次, 内海弘蔵, 横 地清次郎 編		金港堂書籍	
内海月杖	明星 (1)	東京新詩社	
内海弘蔵	国文学 (16)	国文学雑誌社	
内海弘蔵 著		新声社	『叢書』に(新潮社)
内海月杖	明星 (2)	東京新詩社	ハイネ「Buch der Lieder - Die Heimkehr」 の一節、文章中、森鷗外の訳詩を引用
内海月杖	明星 (3)	東京新詩社	ハイネ「Die NORDSEE GEDICHTEN」
内海弘蔵	国文学 (18)	国文学雑誌社	
内海月杖	明星 (4)	東京新詩社	雑誌の要目には「騎士(独詩評釈)」
内海弘蔵	国文学 (19)	国文学雑誌社	
月杖	山本栄次郎 編『白百合： 美文韻文』	矢島誠進堂	
内海月杖	明星 (5)	東京新詩社	雑誌の要目には「独詩評釈」
内海弘蔵	国文学 (21)	国文学雑誌社	
内海月杖	明星 (6)	東京新詩社	
内海月杖	明星 (7)	東京新詩社	
内海弘蔵	国文学 (23)	国文学雑誌社	
内海月杖	明星 (8)	東京新詩社	
内海弘蔵	美文韻文 紅葉舟	新声社	広告のみ。田山花袋『ふるさと』再版

『叢書』	西暦	和暦	出版月日	内海編著作名	内海執筆記事/頁
	1901	明治34	1. 1		末葉のやどり / 5～7
	1901	明治34	1. 1		大町桂月君の菅公論を読む / 67～68
	1901	明治34	1. 1		文芸雑俎 / 92～97
	1901	明治34	2. 23		文芸雑俎 / 82～85 桂月君に問ふ / 90～91
	1901	明治34	3. 23	中等教科日本文学史 訂正 4版	
	1901	明治34	9.	国文読本 巻の1～10 訂 正再版	
	1901	明治34	12.	社会童話 第1編 鉄道乃 話	
	1902	明治 34,35			相撲の送別 / 146
◎	1902	明治35	1. 1		おもひでの記
	1902	明治35	2. 10		作文教授上の私見 (読本編纂者の一大不注意) / 9～11
	1902	明治35	3. 10		落合権田両先生 / 16～27
	1902	明治35	3. 15	日本実業読本編纂趣意書	
	1902	明治35	3.	日本実業読本	
	1902	明治35	4. 3		跋
	1902	明治35	4. 10		春の宵 / 11～16
	1902	明治35	5. 10		五月雨 / 6～7
	1902	明治35	5. 22	訂正日本実業読本 巻1, 巻2, 巻3	
	1902	明治35	6. 10		久米幹文先生 / 14～19
◎	1902	明治35	7. 10		荒川のほとり
◎	1902	明治35	8. 10		夕ぐれ
◎	1903	明治36	1. 5		不情不緒
	1903	明治36	1. 5		嗚呼高山樗牛君 / 118
	1903	明治36	2. 3		国民ことに我が実業界の趣味の墮落を論じて夜学校補習学校の設立の急務に及ぶ / 1～4 「国文学」第五十号祝宴の記
	1903	明治36	2. 20	国文学史教科書	
	1903	明治36	4. 1		断腸語 / 37～47
◎	1903	明治36	4. 10		文反古
◎	1903	明治36	5. 10		恋
	1903	明治36	6. 1		恋 (ツルゲ子フの「はつ恋」の一節一独逸訳より) / 55～58
	1903	明治36	6. 10		新潮 / 5～9
◎	1903	明治36	6. 10		萩の家先生の祝筵に陪して
	1903	明治36	6. 20		祖父マルチン
◎	1903	明治36	6. 25		鶯籠
◎	1903	明治36	7. 10		薫園君の膠山絹海帖の後に
	1903	明治36	8. 13	国文学史教科書 訂2版	
	1903	明治36	9. 1		はまゆふ / 59～66
	1903	明治36	9. 10		からなでしこ / 1～3
◎	1903	明治36	10. 10		ルケルヤー

内海弘蔵編著作リスト

編著者名執筆著者名表記	収録図書・雑誌	出版者	備考
内海月杖	国文学 (25)	国文学雑誌社	表紙に「初日影」というタイトルがある
内海月杖	明星 (10)	東京新詩社	
月杖生	明星 (10)	東京新詩社	
鉄幹、月杖 月杖	明星 (11)	東京新詩社	
内海弘蔵 著、落合直文 閱		明治書院	
新保寅次、内海弘蔵、横 地清次郎 編		金港堂書籍	
内海月杖		文友館	
内海月杖	鹿島桜巷 (淑男) 編『談 叢 第1編』	鳴臯書院	
内海月杖	国文学 (37)	国文学雑誌社	
内海月杖	国文学 (38)	国文学雑誌社	
内海弘蔵	国文学 (39)	国文学雑誌社	
内海弘蔵 編		明治書院	
内海弘蔵 編		明治書院	
内海月杖	金子元臣『歌がたり』	明治書院	
内海月杖	国文学 (40)	国文学雑誌社	
月杖生	国文学 (41)	国文学雑誌社	
内海弘蔵 編		明治書院	
内海弘蔵	国文学 (42)	国文学雑誌社	
内海月杖	国文学 (43)	国文学雑誌社	
内海月杖	国文学 (44)	国文学雑誌社	
内海月杖	国文学 (50)	国文学雑誌社	
月杖生	国文学 (50)	国文学雑誌社	
内海月杖	国文学 (51)	国文学雑誌社	『叢書』に「2.5」
月杖生			
落合直文、内海弘蔵 合著		明治書院	
内海月杖	明星 (4)	東京新詩社	
月杖生	国文学	国文学雑誌社	
月杖生	国文学	国文学雑誌社	
内海月杖	明星	東京新詩社	
月杖生	国文学 (55)	国文学雑誌社	
内海月杖	国文学	国文学雑誌社	
内海月杖	中学世界6 (8) 夏期増刊	博文館	
内海月杖	莫告藻	莫告藻會	
内海月杖	国文学 (56)	国文学雑誌社	
落合直文、内海弘蔵 著		明治書院	
内海月杖	明星	東京新詩社	
月杖	国文学 (57)	国文学雑誌社	
月杖	国文学	国文学雑誌社	

『叢書』	西暦	和暦	出版月日	内海編著作名	内海執筆記事/頁
	1903	明治36	11. 1		祖筵 /35~40
◎	1903	明治36	11. 10		ルケルヤー
◎	1903	明治36	11. 20		ゆく秋
	1903	明治36	12.		修辭法 /31~34
◎	1903	明治36	12. 1		堂守 (コロレンコーの西比利亜物語より)
◎	1903	明治36	12. 10		ルケルヤー
◎	1903	明治36	12. 10		雪の夜
	1904	明治37	1. 1		白薔薇 / 1 ~ 3
	1904	明治37	2. 25		嗚呼萩の家先生 /128~133
	1904	明治37	2. 25		終焉の記 /176~179 通夜の記 /179~187 うつし闇 /188~193 内海他 2 名
	1904	明治37	4. 1	訂正日本実業読本 卷 1, 卷 2, 卷 3 訂正10版	
◎	1904	明治37	4. 1		おとづれ
	1904	明治37	4. 10		わび居—イワン、ツルゲニエフ—/ 2
	1904	明治37	5. 10		ひと夜 / 1 ~ 6
	1904	明治37	5. 29		序 / 2
	1904	明治37	6. 1		もろかりき
	1904	明治37	6. 10		ゆふ浜
	1904	明治37	7. 10		舞扇—ハンス、フォン、ホツフェンタールー—/ 1 ~ 5
	1904	明治37	9. 1		舞扇—ハンス、フォン、ホツフェンタールー—
	1904	明治37	9. 1		おもひでの磯
	1904	明治37	9. 10		序
	1904	明治37	10. 1		夕座 —イワン、ツルゲニエフ「はつ恋」の一節—
	1904	明治37	10. 20		文がら / 2 ~ 3
	1904	明治37	10.		ゆふやみ
	1904	明治37	12. 10		あゝ師の君 /39~40
	1904	明治37	12.		痴漢 /16
	1905	明治38	2.	中等作文捷徑	
◎	1905	明治38	2. 5		拙著中等文法作文教科書編著の趣旨を述べて、世の国語教育家諸君に訴ふ
◎	1905	明治38	3. 10		痴漢 (デットレーヴ、リリークローン)
	1905	明治38	7. 1		痴漢 —デットレーヴ、リリークローン—
	1905	明治38			鶯鳥守 /257
	1905	明治38			
	1905	明治38		中等文法作文教科書 卷 1, 卷 2, 卷 3	
	1906	明治39	4.	実業補習読本 卷 1, 卷 2	
	1906	明治39	5. 20	読書作文辞典	
	1906	明治39	6.	中等文法作文教科書 附表	



内海弘蔵編著作リスト

編著者名執筆者名表記	収録図書・雑誌	出版者	備考
内海月杖	明星	東京新詩社	
月杖	国文学	国文学雑誌社	
内海月杖	莫告藻	莫告藻會	
内海弘蔵	文章界 1 (3)	文章講習會	
内海月杖	太陽	博文館	
月杖	国文学	国文学雑誌社	
内海月杖	中学世界	博文館	
月杖	国文学 (61)	国文学雑誌社	現物に「明治36年1月1日発行」。校正ミスと推測される
内海月杖	国文学 (62) 萩の家主人追悼録	国文学雑誌社	
内海弘蔵	国文学 (62) 萩の家主人追悼録	国文学雑誌社	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海月杖	明星	東京新詩社	
月杖	国文学 (63)	国文学雑誌社	
月杖	国文学 (64)	国文学雑誌社	
内海月杖	与謝野鉄幹・晶子 合著『毒草』	本郷書院	『叢書』に「金尾文淵堂」刊。鉄幹『小扇』との混乱と推測される
内海月杖	明星	東京新詩社	
月杖	国文学 (65)	国文学雑誌社	
月杖	国文学 (66)	国文学雑誌社	
内海月杖訳文	明星	東京新詩社	
月杖	国文学	国文学雑誌社	
内海月杖	久保より江 著『瑠璃草』	伊藤時	
内海月杖	明星	東京新詩社	
月杖	国文学	国文学雑誌社	
内海月杖	服部躬治編刊『あまびこ第1集』	蕨社	
内海月杖	国文学	国文学雑誌社	
内海月杖	仏教青年 (2)	仏教青年社	
内海弘蔵 著		弘成館	
服部躬治, 内海弘蔵	国文学	国文学雑誌社	
内海月杖	国文学	国文学雑誌社	
内海月杖	明星	東京新詩社	
内海月杖	石川正作 編『明治秀才文集 第3集』	東洋社	
内海月杖	服部躬治 編刊『あまびこ 第2集』	蕨社	内海著作未詳
服部躬治, 内海弘蔵 合著		明治書院	
内海弘蔵 編		宝文館	
内海弘蔵 編		宝文館	
服部躬治, 内海弘蔵 著		明治書院	

『叢書』	西暦	和暦	出版月日	内海編著作名	内海執筆記事/頁
	1906	明治39	6. 27	われから	
	1906	明治39	9.	大学予科国文読本 卷上, 卷下	
	1906	明治39	9. 15		落合直文(評伝)/108~115
	1906	明治39	11.	中等習字帖 卷中, 卷下	
◎	1906	明治39	11. 20		作文力養成策
	1906	明治39		再訂日本実業読本 卷1, 卷2, 卷3	
	1907	明治40	1.	中等習字帖 卷上, 卷下 訂 正再版	
	1907	明治40	2.	中等補習国語読本 全	
	1907	明治40	7. 1		文芸界の闇黒時代/3~5
	1908	明治41	1.	中等補習国語読本 全 訂正 再版	
◎	1908	明治41	2. 15		読本編纂者の観たる現代作家の文章
	1908	明治41	4.		(五) 学生時代の経歴逸話
	1908	明治41	6. 15		第一高等学校へ/92~95
◎	1908	明治41	6. 17- 18		理性万能主義の教育
	1908	明治41	7. 15		平家特有の叙事法/102~104
◎	1908	明治41	8. 1		夏の夢(ジュアニ・アホーの短篇集より)
◎	1908	明治41	8. 15		文章教育
◎	1908	明治41	8. 23		小説の作家と用語
◎	1908	明治41	10. 10		学校の文芸部をふるはせてほしい
	1908	明治41	10.		婦人と文藝趣味/69~77
	1908	明治41	12. 10		昔の教場/28~33
	1908	明治41	12.	中等文法作文教科書 卷3	
	1909	明治42	1.	新訂日本実業読本 卷1-5	
◎	1909	明治42	4. 1		妙令の婦人と手紙道楽
◎	1909	明治42	4. 21		恋せし人の側に(ゲーテ作)
◎	1909	明治42	5. 21		牧童(ハイネー作)
	1909	明治42	5.	新漢和辞典	
◎	1909	明治42	9. 21		島日記の一節
	1909	明治42	11. 1		こびとペーテル
	1909	明治42	11. 9		こん畜生/68~71
	1909	明治42	11.		
	1909	明治42	12. 1		こびとペーテル
	1909	明治42		新国語辞典	
	1909	明治42		再訂日本実業読本 卷2	
	1910	明治43	2. 1		エペリーネー
	1910	明治43	3. 1		チャーリット
◎	1910	明治43	3. 20		国語漢文の受験準備
	1910	明治43	4. 1		チャーリット
	1910	明治43	4. 1		春いろいろ 浜から

内海弘蔵編著作リスト

編著者名執筆者名表記	収録図書・雑誌	出版者	備考
内海弘蔵 訳		宝文館	
内海弘蔵 著		宝文館	
内海月杖	文章世界 1 (7)	文学同志会	
内海弘蔵 編纂, 玉木本 三郎 揮毫		宝文館	
内海月杖君	中学世界	博文館	
内海弘蔵 編		明治書院	
内海弘蔵 編纂, 玉木本 三郎 揮毫		宝文館	
内海弘蔵 著		宝文館	
内海月杖 談	演芸画報	演芸画報社	
内海弘蔵 著		宝文館	
内海月杖	文章世界	文学同志会	
	青年修養問題	集文館	
内海月杖	文章世界	文学同志会	
内海月杖	東京二六新聞	二六新聞社	
内海月杖	文章世界	文学同志会	
内海月杖	新小説	同好会	
内海月杖	文章世界	文学同志会	
内海月杖	二六新報	二六新報社	
内海月杖	中学世界	博文館	
内海月杖	婦人くらぶ 1 (1)	紫明社	
内海月杖	中学世界	博文館	
服部躬治, 内海弘蔵 著		明治書院	
内海弘蔵		明治書院	
内海月杖	女学世界	博文館	
内海月杖	新文壇	文学館	
内海月杖	新文壇	文学館	
内海弘蔵 著		宝文館	
内海月杖	新文壇	文学館	
内海月杖 訳	兄弟 第 1 巻第 6 号	國學院大學出版部	内海弘蔵は、『兄弟姉妹』創刊時の編集主幹
内海月杖	中学世界12 (14)	博文館	
内海月杖	日本青年 1 巻 6 号	文成社	内海著作未詳
内海月杖 訳	兄弟 第 1 巻第 7 号	國學院大學出版部	
内海弘蔵 著	新国語辞典	宝文館	「読書作文辞典」(明治39年刊)の改題改訂
内海弘蔵 編		明治書院	
内海月杖 訳	姉妹 第 1 巻第 9 号	國學院大學出版部	
内海月杖 訳	姉妹 第 1 巻第10号	國學院大學出版部	
内海弘蔵君	中学世界	博文館	
内海月杖 訳	姉妹 第 1 巻第11号	國學院大學出版部	
内海月杖	姉妹 第 1 巻第11号	國學院大學出版部	

『叢書』	西暦	和暦	出版月日	内海編著作名	内海執筆記事/頁
	1910	明治43	5. 1		はつ夏日記
	1910	明治43	9. 20		国語漢文科問題の批評 /28-35
◎	1910	明治43	10. 15	文章講義録	美辞学講義
◎	1910	明治43	11. 1	文章講義録	美辞学講義
◎	1910	明治43	11. 15	文章講義録	美辞学講義
	1910	明治43	11.	新体作文大成	
◎	1910	明治43	12. 1	文章講義録	美辞学講義
	1910	明治43	12. 13	文章十講	
◎	1911	明治44	1. 1	文章講義録	美辞学講義
◎	1911	明治44	1. 15	文章講義録	美辞学講義
◎	1911	明治44	2. 1	文章講義録	美辞学講義
◎	1911	明治44	2. 15	文章講義録	美辞学講義
	1911	明治44	3.	補習新読本 卷1, 卷2	
◎	1911	明治44	3. 1	文章講義録	美辞学講義
	1911	明治44	3. 5		隨感録 (一) /13~18
◎	1911	明治44	3. 15	文章講義録	美辞学講義
◎	1911	明治44	4. 1	文章講義録	美辞学講義
	1911	明治44	4. 1		文章上に於ける平安朝の復活 /114~121
	1911	明治44	4. 5		國語の振興と吾が刻下の一大急務 /13~20
◎	1911	明治44	4. 15	文章講義録	美辞学講義
◎	1911	明治44	4. 21		さとぶし
	1911	明治44	4. 23		国語漢文講話 (第一講)
◎	1911	明治44	5. 1	文章講義録	美辞学講義
	1911	明治44	5. 5		國語の振興は我が國刻下の一大急務 / 8~13
◎	1911	明治44	5. 15	文章講義録	美辞学講義
	1911	明治44	5. 20		国語漢文講話 (第二講)
	1911	明治44	7. 5		
◎	1911	明治44	7. 5		先づしかとした目的の上に立たなければならぬ
	1911	明治44	8. 1		文章教育の必要 /22~26
	1911	明治44	9. 10	文章十講 訂正増補7版	
	1911	明治44	9. 10	徒然草評釈 改訂[版]	
	1911	明治44	10. 5	新体書翰大成	
◎	1911	明治44	10. 21		平家物語の叙事
	1911	明治44	10. 29		国語漢文講話 (第七講)
	1911	明治44	12. 1		文章教育論 /15~17
	1911	明治44	12.		兼好が趣味論としての徒然草 /27~42
	1912	明治45	1. 10	評論文範 作文叢書	
	1912	明治45	1.	記事文範 作文叢書	
	1912	明治45	1.	小品文範 作文叢書	
	1912	明治45	1.	日記文範 作文叢書	

内海弘蔵編著作リスト

編著者名執筆者名表記	収録図書・雑誌	出版者	備考
内海月杖	姉妹 第1巻第12号	國學院大學出版部	
内海弘蔵	中学世界	博文館	
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海弘蔵 著		成美堂	『叢書』『○作文大成』に相当か
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海弘蔵 著	文章十講	文成社	
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海弘蔵 著		成美堂	
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海月杖	道の友 (231)	天理教道友社	
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海月杖	文章世界	博文館	
内海月杖	道の友 (232)	天理教道友社	
内海月杖	文章講義録		書誌不明
内海月杖	新文壇	文学館	
内海弘蔵	大隈家編修局 編『国民教育 青年講習録 第一期 第一巻』	国民教育講習会	第一講、第二講、第七講のみ確認。一巻第一講から各巻に掲載か
内海月杖	文章講義録		
内海月杖	道の友 (233)	天理教道友社	
内海月杖	文章講義録		
内海弘蔵	大隈家編修局 編『国民教育 青年講習録 第一期 第二巻』	国民教育講習会	第一講、第二講、第七講のみ確認。一巻第一講から各巻に掲載か
笹川臨風, 内海月杖, 平出修他	学叢 (18) 明治大学創立三十年記念号	明治大学	
内海月杖	明治文学		『明治大学創立三十年記念号』か
内海月杖	文章世界 6 (11)	文学同志会	
内海弘蔵 著		文成社	国会図書館DB「改訂増補」
内海弘蔵 著		明治治書院	
内海弘蔵 著		成美堂	
内海月杖	新文壇	文学館	
内海弘蔵	大隈家編修局 編『国民教育 青年講習録 第一期 第七巻』	国民教育講習会	第一講、第二講、第七講のみ確認。一巻第一講から各巻に掲載か
内海月杖	文章世界 6 (16)	文学同志会	
内海月杖	國學院雑誌 17(12) (206)	國學院大學	
内海弘蔵 編		成美堂	
内海弘蔵 編		成美堂	
内海弘蔵 編		成美堂	
内海弘蔵 編		成美堂	

『叢書』	西暦	和暦	出版月日	内海編著作名	内海執筆記事/頁
	1912	明治45	1.		新體 書翰大成 /92
	1912	明治45	1.	修訂日本実業読本 卷1～	
	1912	明治45	2. 10	戦記文評釈	
◎	1912	明治45	3. 15		国語国文学学習法
	1912	明治45	4. 28	新体女子書翰文	
	1912	明治45	5. 10	文章作法	
	1912	明治45	5. 10	書翰文範 作文叢書	
	1912	明治45	5. 10	古文評釈	
	1912	明治45	5.	今文評釈 作文叢書	
	1912	明治45	5.	儀式文範 作文叢書	
	1912	明治45	6. 10	実用新書翰文	
	1912	明治45		高等予備国語読本 全	
◎	1912	大正 1	9. 1		嫌みな文章
	1912	大正 1	10. 1	家庭読本孝子画断 上	
	1912	大正 1	10. 1	家庭読本孝子画断 下	
	1913	大正 2	1.	日曜読本	
◎	1913	大正 2	6. 1		角力雑感
	1914	大正 3	9. 10		先師の一小逸話/内海月杖 /19～21
	1914	大正 3	10. 10		平家物語の作者が観た過渡時代のあはれ /18～22
	1914	大正 3	11. 6	平家物語の女物語 アカギ 叢書 第15編	
	1914	大正 3	12. 10		痴漢 /25～
	1914	大正 3		文章十講 改訂増補	
	1915	大正 4	1.		少女文話 /50
	1915	大正 4	2.		二月のお手紙と日記 /28
	1915	大正 4	3.		春のお手紙 /54
	1915	大正 4	4.		四月の氣分と四月のお手紙 /66
	1915	大正 4	5.		五月の氣分と五月のお手紙と /80
	1915	大正 4	6.		六月の文章 (少女文話) /76
	1915	大正 4	7. 30	徒然草評釈 14版	
	1915	大正 4	7.		七月の文章 /54
	1915	大正 4	8.		八月の文章 (少女文話その八) /68
	1915	大正 4	9. 5	平家物語評釈	
	1915	大正 4	9.		風の音、月の光 /49
	1915	大正 4	10. 1		ゆく秋のあはれ (少女文話その一〇) /25～27
	1915	大正 4	11. 15	家庭日本歴史	
	1915	大正 4	11.		十一月のお手紙 /17
	1915	大正 4	12.		年の暮れ /64
	1915	大正 4	12.	中等国語読本 上級用巻上, 巻下 訂正再版	
	1915	大正 4			舞扇 (ハンス、フォン、ホッフエンタール作) /68
	1915	大正 4		国語作文文法入学試験及第 法	
	1916	大正 5	1. 5	中等実業読本 卷6	
	1916	大正 5	1.		はえばえしいお正月 /51

内海弘蔵編著作リスト

編著者名執筆者名表記	収録図書・雑誌	出版者	備考
内海弘蔵	國學院雑誌18 (1) (207)	國學院大學	
内海弘蔵 編		明治書院	
内海月杖 著	戦記文評釋	文成社	
内海月杖	中学世界	博文館	
内海弘蔵 著		文成社	
内海弘蔵 編		河出静一郎	
内海弘蔵 編		成美堂	
内海弘蔵 編		成美堂	
内海弘蔵 編		成美堂	
内海弘蔵 編		成美堂	
内海弘蔵 著		文成社	
内海弘蔵 編		三光堂	
内海月杖	中学世界	博文館	
内海月杖 著, 倉田白羊 絵		中西屋書店	
内海月杖 著, 倉田白羊 絵		中西屋書店	
内海弘蔵 編		成美堂	
内海月杖	雪月花		書誌不明
内海月杖	わか竹 7 (9)	大日本歌道奨励会	
内海月杖	わか竹 7 (10)	大日本歌道奨励会	
内海月杖 編		赤城正蔵	
内海月杖 譯	わか竹 7 (12)	大日本歌道奨励会	
内海弘蔵 著		日進堂	
内海月杖	少女画報 4 (1)	新泉社	
内海月杖	少女画報 4 (2)	新泉社	
内海月杖	少女画報 4 (3)	新泉社	
内海月杖	少女画報 4 (4)	新泉社	
内海月杖	少女画報 4 (5)	新泉社	
内海月杖	少女画報 4 (6)	新泉社	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海月杖	少女画報 4 (7)	新泉社	
内海月杖	少女画報 4 (8)	新泉社	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海月杖	少女画報 4 (9)	新泉社	
内海月杖	少女画報 4 (10)	新泉社	
内海月杖 著, 結城素明 画		中西屋書店	
内海月杖	少女画報 4 (11)	新泉社	
内海月杖	少女画報 4 (12)	新泉社	
上田萬年, 内海弘蔵 編		宝文館	
内海月杖 譯	近代文学会 編『自然と愛 名作美文 自由叢書 7』	耕山堂	
内海弘蔵 著		誠之堂書店	
上田萬年, 内海弘蔵 編		宝文館	注 1
内海月杖 著	少女画報 5 (1)	新泉社	

『叢書』	西暦	和暦	出版月日	内海編著作名	内海執筆記事/頁
	1916	大正5	2.		梅のほひ /55
	1916	大正5	3. 1		緑の海、草花の海 /47~48
	1916	大正5	3.	徒然草評釈 校訂版	
	1916	大正5	4. 1		花の大野 / 内海月枝 / 38~40
	1916	大正5	4.		むかしの友だち (訓話) /17
	1916	大正5	5. 1		若葉の頃 / 内海月枝 / 64~67
	1916	大正5	5.	国語解釈要説 高等受験参考	
	1916	大正5	6. 1		さみだれの頃 /46~49
	1916	大正5	6.	作文及文法要説 高等受験参考	
	1916	大正5	7. 1		七夕祭 /50~53
	1916	大正5	7. 1	方丈記評釈	
	1916	大正5	7.		
	1916	大正5	8. 1		八月の浜べ /52~53
	1916	大正5	8.		蕃山と藤樹 (歴史の話) /42
	1916	大正5	8.		
	1916	大正5	10.		紅葉の山
	1916	大正5	10.	孝子画噺	
	1916	大正5	11. 1		冬ごもり (少女文話) /52~54
	1916	大正5	12.		歳の暮 /37~39
	1917	大正6	1.		歴史に見えた 蛇のいる[イロ] (歴史の話) /52
	1917	大正6	6. 20	みちしるべ	
	1917	大正6	10. 1		文章一家一言 (執筆者の一人)
	1917	大正6	10. 30	中等国文法教科書 上巻, 下巻	
	1917	大正6	10.		雁の声 (美文) / 2~3
	1917	大正6		女子文章十二個月	
	1917	大正6		書翰文大観: 作作文範	
	1918	大正7	2. 7	中等国文法教科書 上巻, 下巻 訂正再版	
	1918	大正7		平家物語評釈 六版	
◎	1919	大正8	3. 1		梅壺の朝
	1919	大正8	6	作文構成研究: 附・答案模範文集 受験準備	
	1919	大正8	10. 8	徒然草詳解	
◎	1919	大正8	11. 1		大原御幸
◎	1919	大正8	12. 1		内裏の女房と千手の前
	1919	大正8		作作文範作文大観: 全 第3版	
	1919	大正8			八 コロンブスの卵 /28
	1919	大正8		増鏡 国文口訳叢書第6篇	
	1921	大正10	5.	中学書翰文範	



内海弘蔵編著作リスト

編著者名執筆者名表記	収録図書・雑誌	出版者	備考
内海月杖 著	少女画報 5 (2)	新泉社	
内海月杖	少女画報 5 (3)	新泉社	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海月杖	少女画報 5 (4)	新泉社	
内海月杖	良友 1 (4)	コドモ社	
内海月杖	少女画報 5 (5)	新泉社	
内海弘蔵 著		宝文館	
内海月杖	少女画報 5 (6)	新泉社	
内海弘蔵 著		宝文館	
内海月杖	少女画報 5 (7)	新泉社	
内海弘蔵 著		明治書院	
	婦人画報 (124)	東京社	内海著作未詳
内海月杖	少女画報 5 (8)	新泉社	
内海月杖	良友 1 (12)	コドモ社	
	婦人画報 (125)	東京社	内海著作未詳
内海月杖	良友 1 (10)	コドモ社	
内海弘蔵 著		中西屋書店	『叢書』に「大正3. 12. 5」
内海月杖	少女画報 5 (11)	新泉社	
内海月杖	少女画報 5 (12)	新泉社	
内海月杖	良友 2 (1)	コドモ社	
内海月杖 編		興道之日本社	
内海月杖	文藝通信 第2年10号 36・37		小田切進 編集「文藝通信総目次・執筆者索引：昭和8年10月～昭和12年3月」による
山田孝雄, 内海弘蔵 共著		宝文館	
内海月杖 著	少女画報 6 (10)	新泉社	
内海月杖 著		東京社	
内海月杖 著		高正堂	
山田孝雄, 内海弘蔵 共著		宝文館	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海月杖	女学世界	博文館	
内海弘蔵 著		中興館	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海月杖	女学世界	博文館	
内海月杖	女学世界	博文館	
内海月杖 著		三友堂書店	大正7年4月3日付けの緒言あり
内海弘蔵	上中亀太郎, 小山文太郎 著『国民教書 下巻』	盛文書院	
内海弘蔵 著		文会堂書店	
内海弘蔵 編		明治書院	

『叢書』	西暦	和暦	出版月日	内海編著作名	内海執筆記事 / 頁
	1921	大正10	9. 5	枕草紙評釈	
◎	1921	大正10	10. 1		妓王と仏御前
	1921	大正10		最新国文解釈	
◎	1921	大正10		○国文解釈	
	1922	大正11	4.	平家物語選	
◎	1922	大正11	7. 5		鯉釣の話
◎	1922	大正11	8. 1		国文学に現れた富士山
	1922	大正11	10. 10	徒然草評釈 改訂版	
	1922	大正11		平家物語評釈 校訂改版	
	1923	大正12	3.	最新国文解釈 訂正7版	
	1923	大正12	4. 1		木原選手卒業送別會々場にて /264~266
	1923	大正12	6. 8	家庭日本歴史 6版	
	1924	大正13	3. 1		自己紹介の挨拶 = ある學生大會宴會の席上で = /126~127
	1924	大正13	7. 15	方丈記評釈 増訂改版	
	1924	大正13	10.		明大仙臺遠征に就いて /142~142
	1924	大正13	10. 1		明大渡米野球團歸朝歓迎會の挨拶 /129~131
	1924	大正13	11. 15	平家物語評釈 校訂改版20版	
	1924	大正13	11.	女子手紙の作り方	
	1924	大正13			妓王と佛御前 /110
	1925	大正14	1. 27	太平記選	
	1925	大正14	1. 1		明大端艇部祝勝會に於ける挨拶 /350~354
	1925	大正14	2. 1		明大野球部練習納め會の挨拶 /299~302
	1925	大正14	2.		私の好き嫌ひ /83~83
	1925	大正14	7.		枕草紙に表はれたる夏 /25~28
	1925	大正14		平家物語評釈 訂25版	
	1926	大正15	1. 1		[雄辭會發會式に於ける挨拶] /398~400
	1926	大正15	2. 3		三樹さんの頓才 /260
	1926	大正15	5. 1		明大野球部卒業選手送別會の挨拶 /175~177
	1926	大正15	7. 1		明大野球部招待會の挨拶 /200~201
	1926	大正15	11. 20		忘れられた国語教育の第一義—国語教育者の為— /16~22
	1926	大正15	12. 8	校註徒然草	
	1926	大正15		平家物語選 訂2版	
	1926	大正15-昭和3			野球昔話
	1927	昭和2		方丈記評釈 9版	
	1927	昭和2	3.	徒然草評釈 75版	
	1927	昭和2	5.	平家物語評釈 校訂改版	
◎	1927	昭和2	8. 1		都市対抗野球の創造に際して

内海弘蔵編著作リスト

編著者名執筆者名表記	収録図書・雑誌	出版者	備考
内海弘蔵 著		成美堂	
内海月杖	中央史壇	國史講習會	
内海弘蔵 著		尚文堂	
内海弘蔵 編		明治書院	
内海月杖	週刊朝日		
内海月杖	新小説	同好会	
内海弘蔵		明治書院	初版明治44年9月
内海弘蔵 著		明治書院	国会図書館デジタル 画像は「大正十三年」、書誌は「1922」
内海弘蔵 著		尚文堂	
内海弘蔵	雄弁14 (4) ; 4月特大号	大日本雄弁会講談社	
内海弘蔵 著		丸善	5版大正9年7月20日
内海月杖	雄弁15 (3) ; 3月号	大日本雄弁会講談社	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海月杖	野球界14 (13)	野球界社	
内海月杖	雄弁15 (10) ; 10月特大号	大日本雄弁会講談社	
内海弘蔵 著		明治書院	国会図書館デジタル 画像は「大正十三年」、書誌は「1922」
内海弘蔵 著	女子手紙の作り方	日本書院	
内海月杖	国史講習會 編『烈婦か妖婦か国史上問題の女性』	雄山閣	
内海弘蔵 編		明治書院	3版 (大正15年2月発行)
内海弘蔵	雄弁 16 (1) ; 新年特大号	大日本雄弁会講談社	
内海弘蔵	雄弁 16 (2) ; 2月号	大日本雄弁会講談社	
内海月杖	野球界 15 (3)	野球界社	
内海月杖	全関西婦人連合会 2 (7・8)	全関西婦人連合会	
内海弘蔵 著		明治書院	確認できず
内海月杖	雄弁 17 (1) ; 新年特大号	大日本雄弁会講談社	
内海弘蔵	三樹退三 編『桂川遺響』	三樹退三	
内海弘蔵	雄弁 17 (5) ; 5月号	大日本雄弁会講談社	
内海弘蔵	雄弁 17 (7) ; 7月特大号	大日本雄弁会講談社	
内海月杖	日本文学講座 第一卷	新潮社	『叢書』に「明治文学講座」
内海弘蔵 著		明治書院	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海月杖	北原鐵雄 編『アルス運動大講座 第1卷』	アルス	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海弘蔵	東京日日新聞		

『叢書』	西暦	和暦	出版月日	内海編著作名	内海執筆記事 / 頁
	1927	昭和2	9.		竹取物語 伊勢物語 大和物語 落窪物語 土佐日記 蜻蛉日記
	1927	昭和2	10. 1		湯淺投手の苦心 /279～281
	1927	昭和2	10. 29		附録 第1巻 変態妙文集
	1927	昭和2	11. 3		元旦の記 /21～23 寒中見舞の返事 /222～223
	1927	昭和2			日本書紀 祝詞及寿詞 宣命 古語拾遺
	1928	昭和3	6.		紫式部日記 和泉式部日記 更級日記 十六夜日記 枕草紙 方丈記 徒然草
	1928	昭和3			古事記 大鏡 水鏡
	1928	昭和3	8. 1		明大野球部優勝祝賀會祝詞 /364～366
	1928	昭和3	12. 29	漢字くづし方辞典	
	1928	昭和4		徒然草詳解 64版	
	1928	昭和3		平家物語評釈 35版	
	1928	昭和3		平家物語評釈 校訂改版	
	1928	昭和3			近代名家文集（花見朔巳校註）解説
	1928	昭和3			太平記 下巻（花見朔巳校註）解説
	1928	昭和3			近松門左衛門集
	1928	昭和3			曲亭馬琴集
	1929	昭和4	5. 18	平家物語：校註	
	1929	昭和4	9.		六大學リーグ戦當面の諸問題 /10～11
	1929	昭和4		方丈記評釈 増訂改版	
	1929	昭和4			井原西鶴集
	1930	昭和5	6.		御伽草子集
	1930	昭和5		平家物語評釈 校訂改版	
	1930	昭和5	3. 3	攬要大日本御歴代皇紀	
	1930	昭和5	7.	攬要大日本御歴代皇紀	
	1930	昭和5	10.		早慶戦復活當時の思ひ出 /53

内海弘蔵編著作リスト

編著者名執筆者名表記	収録図書・雑誌	出版者	備考
内海弘蔵，物集高量校註	日本文学叢書刊行会 編 『新釈日本文学叢書 第1 輯 第4巻』	日本文学叢書刊行会	
内海弘蔵	雄弁 18 (10) : 10月号	大日本雄弁会講談社	
内海弘蔵編	変態十二史 附録 第1巻	文芸資料研究会	
内海弘蔵	内山舜 著『実習文章構 成修辞法』	長光堂	大正2年、実業之日本社が初版か
内海弘蔵校註	日本文学叢書刊行会 編 『新釈日本文学叢書 第2 輯 第1巻』	日本文学叢書刊行会	CiNiiに「物集高量校註」
内海弘蔵，物集高量校註	日本文学叢書刊行会 編 『新釈日本文学叢書 第1 輯 第5巻』	日本文学叢書刊行会	内海担当箇所要確認
内海弘蔵校註	日本文学叢書刊行会 編 『新釈日本文学叢書 第1 輯 第7巻』	日本文学叢書刊行会	CiNiiに「物集高量校註」
内海弘蔵	雄弁19 (8) : 8月号	大日本雄弁会講談社	
内海弘蔵 編，玉木愛石 書		博多成象堂	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海弘蔵著		明治書院	
内海弘蔵解説	日本文学叢書刊行会 編 『新釈日本文学叢書 第2 輯 第8巻』	日本文学叢書刊行会	
内海弘蔵解説	日本文学叢書刊行会 編 『新釈日本文学叢書 第2 輯 第6巻』	日本文学叢書刊行会	
内海弘蔵，物集高量校註	日本文学叢書刊行会 編 『新釈日本文学叢書 第2 輯 第11巻』	日本文学叢書刊行会	国会DBに「内海弘蔵」
内海弘蔵校註	日本文学叢書刊行会 編 『新釈日本文学叢書 第2 輯 第12巻』	日本文学叢書刊行会	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海弘蔵	野球界19 (11)	野球界社	
内海弘蔵 著		明治書院	
内海弘蔵，物集高量校註	日本文学叢書刊行会 編 『新釈日本文学叢書 第2 輯 第10巻』	日本文学叢書刊行会	土居重義校註か
内海弘蔵校註	日本文学叢書刊行会 編 『新釈日本文学叢書 第2 輯 第7巻』	内外書籍株式会社	『叢書』に「昭和6. 6. 5」
内海弘蔵著		明治書院	
内海弘蔵，渡辺亨 著		大日本皇紀刊行会	
内海弘蔵，渡辺亨 著		新聞資料聯合社	
内海月杖	野球界20 (15)	野球界社	

『叢書』	西暦	和暦	出版月日	内海編著作名	内海執筆記事/頁
	1930	昭和5	10.		野球部卒業選手を送る /235
	1931	昭和6	5.	大日本御歴代皇紀：攬要	
	1931	昭和6	7.		六大學リーグ改造私見 /146~148
	1931	昭和6	10. 10		狭衣 浜松中納言物語 堤中納言物語 讃岐典侍日記 唐物語 中務内侍日記
	1931	昭和6	12. 20		歌人評伝篇 落合直文 /325~347
	1932	昭和7	3.	攬要大日本御歴代皇紀	
	1932	昭和7	5. 5	平家物語評釈 訂42版	
	1933	昭和8	4.		野球一シーズン制について /20~21
	1933	昭和8	8.	新修大辞林	
	1933	昭和8	11. 1		スポーツ第一義 /122~123
	1935	昭和10	10. 4	御歴代皇紀 4版	
	1935	昭和10		机上大辞典	
	1936	昭和11		現代の書簡文	
	出版年不明			美文 韻文 ふる裕	
	出版年不明			国語解釈	
	出版年不明				美辞学講義
◎	出版年不明			教育史	
◎	出版年不明			教育五十年史	

内海弘蔵編著作リスト

編著者名執筆者名表記	収録図書・雑誌	出版者	備考
明大野球部長 内海弘蔵	大日本雄弁会 編『式辞挨拶十分間演説集』	大日本雄弁会講談社	
内海弘蔵, 渡辺亨 著		大阪帝國通信社東京支社	
内海弘蔵	文芸春秋 9 (7)	文芸春秋	
内海弘蔵校註	日本文学叢書刊行会 編『新釈日本文学叢書 第2輯 第2巻』	内外書籍株式会社	
内海月杖	山本三生 編『短歌講座 第7巻』	改造社	
内海弘蔵, 渡辺亨 著		日本皇紀刊行会	
内海弘蔵 著		明治書院	大正4年9月1日初版。大正13年11月15日校訂20版
内海弘蔵	文芸春秋 11 (4)	文芸春秋	
内海弘蔵 著		浩文社	
内海月杖	雄弁 24 (11) 11月号	大日本雄弁会講談社	
内海弘蔵, 渡辺亨 著		皇道奉讃會	
内海弘蔵 編		根縫与三吉	「新式辞典」ノ改題
内海月杖 著		春江堂	
与謝野鉄幹, 内海月杖 合著		新詩社	『明星』第7号掲載の広告のみ。明治33年10月10日発行予定だったが、検出できず
内海弘蔵 講述		明治大學出版部	
沼波瓊音講述；内海弘蔵講述；長連恒講述；生田長江講述		日本文学学院『日本文法講義；美辞学講義；日本文学史；明治文章史〈文章講義〉』	書誌不明

【注】

1 『中等実業読本6巻』は、『JIU 教職課程年報』第5号に資料紹介を掲載予定。

【参考文献】

甲斐智恵子・宮坂恵子（1974）「内海月杖」、昭和女子大学近代文学研究室『近代文学研究叢書』第40巻  
昭和女子大学近代文学研究所 pp.21～56

（おかだ みやこ：城西国際大学国際人文学部・大学院人文科学研究科教授／

こう ねい：東北大学外国語学院日本語学部講師、城西国際大学大学院人文科学研究科  
博士課程比較文化専攻在籍）

**Abstracts**

## List of works by Utsumi Kozo

Okada Miyako, Kong Ning

Utsumi Kozo (1872-1935) authored many works concerning both the teaching and study of Japanese literature and language. We utilized databases on the Internet to make a list of his works.